



とつか

2021年8月会報 第322号

- 国際会長(IP) Kim Sang-chaе (Korea)
- 2021 主 題 “Y's Men with the World” 「世界とともにワイズメン」
 スローガン “Heal the World with Love & Dignity” 「愛と尊厳で世界を癒そう」
- アジア太平洋地域会長(AP) 大野 勉 (神戸ポート)
- ~ 主 題 “Make a difference beyond the 100th” 「100年を越えて変革しよう」
 スローガン “Be healthy!” 「健康第一！」
- 東日本区理事(RD) 大久保 知宏 (宇都宮)
- 主 題 「私たちは次の世代のために何ができるか？」 “Think for the next generation.”
- 2022 スローガン「絆を深める時」 “We are stronger together than we are alone.”
- 湘南・沖縄部部长(DG) 若木 一美 (横浜とつか)
- 主 題 「咲かそう 人の輪～明るく・楽しく・元気よく～」
- 主 題 クラブ会長 若木 一美 会長主題 「咲かそう 人の輪」
- 副会長 吉原 訓 書記 加藤利榮 会計 岡 進 ネット 吉原和子 担当主事 瀬戸俊孝

会員ひと言 ☆小さなイライラが...☆ 山中 奈子 館長



コロナが子どもたちに与える影響はどんなものでしょうか...
 学校では、これまでもインフルエンザなどの感染対策を指導してきました。お陰で、手洗い・うがいは日常的な習慣になり、コロナ感染予防対策として、熱があったら登校しない、外に出ない、遊ばない...は、心理的な窮屈さを増すものです。特に“緊急事態宣言”“外出自粛”...何だか怖そうな文字が並び、「僕たち何にもできなくなっちゃうの？」と心配そうに聞いてきた子もいます。

狭い室内で家族が密集して過ごすことになり、外に出ることもままならない子どもたちはストレスを抱え「することがない」「ひま」を連呼し、外へ出たがる、喧嘩が増える、ゲームに走り、だらだらしてくる。こうした言動は、「何とかして...」という切実な叫びなのでしょうが、聞く側の大人もイライラして、子への虐待やDVなどが生じがちになり、時に、自分はそこにはいけない...など、乱暴になりがちです。

今、主人はコロナ禍の中、完全な在宅勤務となり、運動不足など心配な部分もありますが、中学生の娘とのコミュニケーションは前より良くなったような気がします。「ヒマ」のある娘と一緒に昼食を作ったり、またゲームをしたり...で、前には考えられなかった関係が生まれています。忙しくしている私を横目に「何とかして...」の声にうまく対応してくれた大人がいてくれた事に感謝しています。YMCAでも、そんな小さなイライラを取り除くことができるようにしていきたいと考えます。

◎今月の聖句◎

「だから、目を覚ましていなさい。あなたがたは、その日、その時を知らないのだから。」

—マタイによる福音書第25章13節—

近ごろ、安心だ、安全だ...と思っている日常生活の中で、思いもよらない危険の潜んでいることに気付かされます。日ごろ、誰一人考えてもみなかったことが起きています。いわば‘想定外’ということばが流行語のようになりました。今こそ、心の目を覚まし、慌てない心の備えを持ちたいものですね。

強調月間 :—

L T ・ I B C

初めに **LT**、Leadership Training、会員のリーダーシップの開発・向上を目的に行う研修ですが、各自の自己啓発のためのワイズ活動なども含まれる。また、**IBC**とは、International Brother Clubs、国際大会の機会を利用するなどして国外のワイズメンズクラブと兄弟クラブの締結を行って、事後、プリテンの交換などのお付き合いを行っていく意味ですが、最近では、3つのクラブで行う**トリプル・クラブ**も有ります。

会員数	7月・中止	出席率	ファン	B	F	B	F	CS・TOF・A S F (円)	B A P Y (円)	ロ	バ
メ ン	12	メ ン	0	0%	他	(円)	(g)				
メネット	9	メネット	0		前月迄		0	0	0	0	0
		ゲストら	0		当 月		0	0	0	0	0
計	21	合 計	0		累 計		0	0	0	0	0

★強い義務感を持とう 義務はすべての権利に伴う★



☆湘南・沖繩部の部長として☆

若木 一美

新しい年度が始まり、7月10日(土)には区役員会がオンラインで開催されました。皆さまから熱い日々思いが伝わってまいりました。しかし、私は何故かこの雰囲気には馴染めないのです。かつて、横浜ボランティア協会(現よこはまユース)で活動を共にした知人がワイズの某クラブに入会しましたが、間もなく退会しました。理由をひと言で申し上げると「様々な活動をする私には向いていない。」ということでした。区役員会の画面を3時間見ていると、彼の顔が浮かびました。

さて、今期から神奈川県内の7クラブとなった当部ですが、20数年前に元総主事の吉村恭二氏が始めた「会長懇談会」が「Y-Y's協議会」に発展し、現在、90回を数えるまでになりました。加えて、評議会や部大会、新年会等々の会合がほぼ毎月のように開かれ、クラブを超えた交流が活発になり、様々な市民の声を聴いておられるYMCAスタッフの方々とも活発な意見の交換ができています。

横浜・鎌倉・とつか・厚木・金沢八景・つづき・つるみと、それぞれ設立された背景が異なり、構成会員も特色ある方が多いので、クラブ単位での活動は順風満帆に運営ができていると思っておりますが、それらを横に繋ぐ部の活動では、部には協力できないと宣言された会員もおられるやに聞いており、運営上若干の課題もあると感じています。➡

今年度は、新しい部となって25年、またワイズメンズ運動創立100年になります。私の世代以降の多くの皆さんは、団体活動の体験をされていない世代です。この世代に私達の活動・体験を届けるために、「例会は楽しく、また様々な人たちに会えることができます...。」ではなく、より具体的な中味や内容を説明する必要があると思っております。

ご参考までに、歴代の部長さんを掲載しておきます。

(年度)	(氏名)	(クラブ)	(年度)	(氏名)	(クラブ)
① 97-98	吉田 登	とつか	⑬ 09-10	辻 剛	つづき
② 98-99	高田一彦	横浜	⑭ 10-11	鈴木 茂	つづき
③ 99-00	里吉時夫	ノース	⑮ 11-12	金子 功	横浜
④ 00-01	元井逸子	とつか	⑯ 12-13	佐藤節子	厚木
⑤ 01-02	高杉治興	横浜	⑰ 13-14	池田光司	鎌倉
⑥ 02-03	御喜屋ミドリ	鎌倉	⑱ 14-15	峯尾 舜	八景
⑦ 03-04	安永和夫	とつか	⑲ 15-16	今城高之	つづき
⑧ 04-05	久保勝昭	ノース	⑳ 16-17	若木一美	とつか
⑨ 05-06	金 廣照	横浜	㉑ 17-18	金子 功	横浜
⑩ 06-07	田口堅吉	とつか	㉒ 18-19	佐藤節子	厚木
⑪ 07-08	浦出昭吉	とつか	㉓ 19-20	森田幸二郎	沖繩
⑫ 08-09	里吉時夫	ノース	㉔ 21-22	古田和彦	横浜

—敬称略—

この1年、どうぞよろしくお願い申し上げます。



☆もう1年会長を☆

若木 一美

皆さま、お元気でお過ごしでしょうか...? 昨年度1年間は何もしないまま終わりました。もう1年、会長を続けさせていただきます。またクラブの役員さんやクラブの事業計画も、ほぼ昨年と同じにさせていただき、取りあえず実行可能な事業から手掛けてまいりたいと考えております。

さて、今回はここで歴代の会長さんをふり返ってみることにしました。お付き合いください。

今から27年前の初代会長は加藤さん、今も現役で私たちの活動の中心におられます。2代目佐々木さん、名古屋に移られ名古屋グランパスクラブに入られて、とつかとのDBC締結の切っ掛けを創られました。そして3代目は上滝さん、横浜の高杉さんからの紹介で入会、同時通訳をなさる大変個性的な方でした。4代目は元井さん、ワイキチ女性版の見本みたいな方、5代目は川津さん、近年、体調が優れませんが今なお現役です。6代目は私、7代目は田口堅吉さん、厚木クラブを作られ、アツギで現役です。8代目は元YMCAスタッフの安永さん、心の優しいお方でした。9代目はMM21社長職にあった佐藤昌之さん、教えられること、多々ありました。そして10代目三谷晃一さん、クラブ10周年式を挙行了しました。この辺りから2年・3年...と続けて会長を務めるようになります。2年続けられたあと、12・13代は渡邊寛さん、まじめな人情家でした。➡

そして、その2年後、14代は東京から見えた人見茂幸さん、情報通の方でした。15代は私で、16・17と浦出さん、そして18・19代はまた私、20代は長老の加藤さん、そして21・22代は的確な情勢判断をされる吉原さん、後はまた、浦出さん...ということで、浦出さんは、とつかの最多会長さんです。次もお願いします...? ...という次第で、14人が入れ代わり立ち代わりの27年間でした。思い返すと、実に色々な事があったなあ...と、ひと時、懐かしくなりました。皆さまはいかがでしょうか...。熱くアツく燃えた会長から私のような冷めた会長まで、様々な思い出をお持ちのことと思います。

人と会うことの好きな私は、「咲かすな人の輪」「オンライン〇〇」がいつ終わるか...、待ち焦がれております。

皆様の役職担当表です。ご確認のほどを...。(敬称略)

—2021 - 22 横浜とつかクラブ役職担当表—

会長	若木一美	地域奉仕事業	吉原 訓
副会長	吉原 訓	会員増強事業	浦出昭吉
書記	加藤利榮	国際交流事業	土方喜美代
会計	岡 進	国際交流事業	岡 進
直前会長	浦出昭吉	ユース事業	有田征彦
監事	加藤利榮	ドライバー	川津政義
メネット事業	吉原和子	ドライバー	柴原和可
ブリテン	加藤利榮	ドライバー	鈴木ひろ子
担当主事	瀬戸俊孝	ドライバー	山中奈子

【緑陰随想】

☆千葉ウェストクラブ誕生に思うこと☆



高田 一彦 (千葉ウェストクラブ会長)

高田 一彦 (千葉ウェストクラブ会長)
昨年の10月3日にコロナ禍の下で誕生した千葉ウェストクラブの経緯をたどってみると、真にワイズへの宿命(?)を感じずる次第です。事の発端は、家内の実家が船橋にあり、横浜から転居したことです。そもそも家内とのなれそめは、2007年のアジア大会がタイのバンコックで開催されたときに、さるワイズの方に紹介されたのがきっかけでした。船橋には義母がホームに入っており、面倒を見なければならず、船橋と横浜を往ったり来たりしていた結果として2011年に引っ越しました。移って3年目に、それまで教会から離れていた私が、どういいうわけか、近くの船橋教会をネットで見つけて訪問しました。その初めての訪問の時に、教会の門柱にYMCAの看板を見つけて小躍りしました。また、船橋ワイズメンズクラブも船橋教会のメンバーを中心に存在していたことを聴きましたが、実態はYMCAの事もワイズの事も全くと言っていいほど関心は持たれていませんでした。

そんな中で、「なぜワイズやYMCAがないのか?是非クラブを創らなければ...」と思うようになりました。そんな折に、かつて船橋クラブの会長を務められた鈴木利夫さんの葬儀が教会で行われた折、遺影の胸にワイズのバッジが輝いていたのを発見しました。娘さんが、「生前、父が一番気に入っていた写真です。」と言って、持ってこられたものでした。これを機に、絶対クラブを作らなければと一念発起して、かつて東京YMCAのスタッフだった吉崎さんを巻き込んで、教会のメンバーを中心に、設立の準備が始まりました。

2017年に横浜クラブから千葉クラブへ移籍していただいたので、千葉クラブがスポンサークラブとなり、長尾さんと2人が準正籍して...という次第でした。

(高田一彦様、お忙しい中 大変参考になるご寄稿を賜り有り難うございます。)



横浜 YMCA ワークサポートセンター 相馬 良文

いよいよ東京オリンピック 2020 大会が開幕しました。

ワークサポートセンターでは、世の中の様々な出来事に興味を持ち、知識を広げることに取り組んでいます。オリンピックもスポーツへの興味の有無で、関心度には差があります。

そこで、ピクトグラムから競技の内容などを知ることになりました。このピクトグラムと競技名を結びつける50問クイズでは、約90分間集中し、多くの競技を覚えることができました。

ニュースで目にする映像にも関心を持ってもらえると嬉しい...。

何の競技のスポーツピクトグラムが分かるかな?



【随想】

☆おきなわ考☆

加藤 利榮

沖縄那覇クラブは、今から55年前の1966年(昭41)11月24日、日本復帰の6年前、横浜を親クラブに25名の会員で誕生、手元の1967年版会員名簿の33・34ページには23名の会員がその名を連ねる。そこには、知念一郎さんや大森泰夫さん、比嘉良夫さんら、かつての懐かしい盟友も顔を揃えている。

その那覇クラブから、先ごろ会長名で古田部長宛て、クラブを解散する旨の書面が届けられた。

以下、私なりに、今までの同クラブとの関わりなどを時系列的に辿りながら、問題点を考えてみたい。

1) その歴史

- ① 那覇クラブが、なぜ東部(後の南東部、現湘南・沖縄部)に属したか...
② 発足から20年を経た86年に至り、区定款にはない'理事預り'の形でクラブの活動は休眠状態に...
③ '理事預り'時代には、毎月、モアイ(地域経済互助会方式の会合で無尽の一種・模合)を、'かまぬめえ'で開いていた。
④ 月1回のモアイには、ワイズメンを中心に、女性を含む20~30名が'かまぬめえ'に集まっていた。
⑤ 沖縄への初訪問は、菅沼義久さん(元横浜)とともに87年12月、'理事預り'さ中での訪問、かまぬめえに到着すると、挨拶もそこそこにモアイの一部始終に付き合わされたのが、今となっては懐かしい思い出。
⑥ 以後、かの地に魅かれるモノがあつてか、年に複数回を含め、つい先ごろの2019年(平成31年)まで毎年、欠かさずに訪れることになろうとは...。
⑦ ご一緒させていただいた仲間は菅沼さんのほか、田口堅吉さん・佐藤節子さん(厚木)・小原武夫さん(東京世田谷)・重村利幸さん(元横浜)・浅見隆夫さん(東京グリーン)・高田一彦さん(千葉ウェスト)・池田光司さん・千葉裕子さん(鎌倉)・浦出昭吉さん・川津政義さん・吉原訓さん(とつか)々々...の皆さん~まだまだ大勢の皆さんがいらっしゃいましたが...。菅沼さんとのコンビが最多でした。
⑧ 87年の中ごろに至り、中途半端ともとれる'理事預り'の状態を元の正常な形に戻そうという動きが区理事ら鈴木功男さんや石井一也さん、それに区事務所長兼連絡主事の後藤邦夫さんらが中心となって注力し始めていることが分かり、その仲立ちの心算で現地の仲間と連絡を取り始めることになった。



~以下次号~

YMCA だより

☆ユース世代の活躍に期待して☆



クラブ担当主事 瀬戸 俊孝

私たち YMCA は、YMCA に関わるすべての人が心身ともに豊かに活動できるように日々プログラムを運営しています。中でも、特に青少年の育成は使命であり、未来を担う若者の育成がとても重要なことだと考えています。日常的なユースリーダー活動も新型コロナウイルス感染症の影響で、かなり制限されています。先日、今年の夏季キャンプ中止が決定しました。今年は参加者だけでなく、多くのユースリーダーが集まっていたので、とても残念です。

そんな中であって、リーダーに対しての学びの機会として、毎年行っている「東日本 YMCA ユースリーダーズフォーラム」を、今年は9月11日～12日に開催する準備をしています。今回は、横浜 YMCA が主管で、富士山 YMCA でのリアル体験で企画を検討してきましたが、こちらも今年度は（昨年同様）オンラインでの開催と決定しました。この研修会は、従来からワイズの皆さんのサポートにより開催しています。「山中湖でカヌーに乗って楽しかった...」「富士山 YMCA でキャンプソングをみんなで歌ったのが印象的...」などの声が聞こえてきます。今回は、昨年に引き続きオンラインでの開催となりますが、オンラインだからこそできる「つながり」や「学び」もあり、社会に出るまでの限られた時間に YMCA に関わりを持ち、学び・成長することを願いサポートしたいと思います。



☆今月の歳時記から☆

‘ 夕風 ゆうなぎ ’ と ‘ 撫子 なでしこ ’

‘ ゆうなぎ ’、海辺の地方に起こる自然現象。昼間は陸地が海上よりも気温が高いため海風が吹くが、日没後は陸地の方が早く冷え、ある時間、陸地と海上とがほぼ同じ温度になる。この三、四時間の間、風がまったく止ってしまう。これを夕風という。風がなく、暑さ堪えがたい。

‘ 瀬戸の夕風 ’ や ‘ 長崎の夕風 ’ は全国的にも有名。

夕風や使はねば水流れ過ぐ 耕 衣

次に ‘ なでしこ ’、秋の七草のひとつ。晩夏から咲き始め、高原では七月初めが盛りになるので、夏の花とされることもある。山野に自生し、淡紅色の五弁の花が枝の先に咲き続ける。桔梗とともに秋らしい花である。大和撫子、河原撫子ともいう。

酔て寝むなでしこ咲ける石の上 芭蕉

一午



☆8月中のあつまりについて☆

当面の ‘ あつまり ’ に関し、担当主事名にて以下のメールが送られております(7/19・17:18)。

なお、状況が変わり次第その都度お知らせします。

(会長)

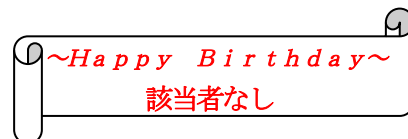
皆さま

お元気にお過ごしでしょうか？

神奈川県は神奈川県緊急事態宣言が発令されました。これに伴い8月末まで会合はすべて休会といたします。

梅雨も明け、本格的な暑い時期に入りますが、オリンピック・パラリンピックはご自宅で観戦されて楽しみましょう。9月以降になれば、私たちも少しずつ動き出せると思います。

また、お会いできる日を楽しみにしております。



【掲示板】

会長

☆ 部長として・会長として...前と似たテーマかもしれませんが、2ページ目にまとめてみました。

☆ 今月はオリンピック月、精々ご自宅でお楽しみを...

☆ 加藤ワイズの ‘ おきなわ考 ’ は3回に分けて連載される予定です。

☆ コロナ禍にこの暑さ、精々健康にご留意のほどを...

謹んでお見舞い申し上げます

横浜とつかクラブ 会長 若木一美

書記 加藤利榮

先だって7月3日に発生しました熱海市伊豆山地区土石流災害に際し、日ごろ活動を共にしております熱海・熱海グローリー両クラブを始め関係者皆様に心よりお見舞い申し上げます。

伺うところによりますと、直接の人的被害は免れたとのことですが、中には家屋の被害に遭われた方もおられるとか...

今なお行方不明者の中には、元会員の奥様もお出でと伺い、かつてお付き合いいただいた太田様の奥様では...など思いを巡らせております。また、現地付近にお住いの青木様によれば、一時的にせよ熱海の街へ出られるのに、ハコネ越えを余儀なくされたとのこと、絶句した次第です。

かくなる上は、一日も早く日ごろの活気を取り戻されることを願い、併せて会員関係者皆さまのご健勝・ご発展を心よりお祈り申し上げます。

〈後記〉

愈々始まったオリンピック...、そしてワイズの方もソロリ...

Change! 2022~

(TK)